



生活クラブ北海道 機関誌
チュブとはアイヌ語で太陽、月の意味

7 月号
2024 No. 498

5年ぶりの 田植えツアー



子ども 23 人を含む、組合員 15 家族が参加しました（6/1 滝川市江部乙の体験田）

前日までぐずついていた天気、ツアー当日はすっきりと晴れた田植え日和となりました。コロナ禍や悪天候で中止が続いていた田植えを再開できたことは、私たちにとって大きな喜びでした。生産者のとんぼの会、精米と流通を担う(株)食創、そして「JAたきかわのみなさんも田んぼに入って、組合員と一緒に手作業で苗を植えました。参加者からは「生産者と触れ合うことができ、お米に愛着がわいた」「こういう所で、こういう方々がお米を作ってくれてるんだと分かった」「お米を食べながら家族で生産地に思いをはせることができて嬉しい」など、たくさんの感想がありました。生活クラブは約 40 年にわたり江部乙農協（現「JAたきかわ」）と提携し、「こんなお米を作りたい、食べたい」という思いを実現するために交流を続けてきました。秋には稲刈りツアーも予定しています。ぜひ積極的に参加し、交流を深めていきましょう。

〈本部消費委員会担当理事 大野 直子〉

田植え機に乗ったよ！



とんぼの会 前会長の平澤さん(左)と埴淵会長(右)

INDEX

生活クラブでんきキャンペーン 3
生活クラブでんきに切り替えましょう！

仲間を増やして食べる人を増やして
生活クラブを拡げよう 6～7

2024 年度 第 42 回通常総代会報告 4～5

生活クラブ Wind

組織活動

ここ数年、夏になるたびに「北海道とは思えないほど暑い」という声を耳にします。熱中症には十分に注意しなければいけません。夏季の高温化は私たちの健康だけではなく、世界規模で畜産、酪農、漁業、農作物の生産量にも影響を及ぼします。食料や食品原料のほとんどを輸入に頼っている日本にとつては、熱中症以上の死活問題と言えます。



私たちの共同購入は、地場や地域での生産者との提携によって成り立っています。持続可能な生産と消費をさらに広げるため、共同購入に参加する仲間を広げましょう。

消費委員会

今年度の本部消費委員会は、5支部の委員長が元気に活動しています。委員会で大切にしているのは生産の現場を知ること、生産者から話を聞くこと。4月は米の種子温湯消毒見学、6月には田植えのほか、提携生産者の国産製麺とオシキリ食品の工場見学に行ってきました。生産者に組合員の想いや声を直接届けることは、生産者の意欲にもつながる生活クラブならではの活動です。

石けん運動委員会

廃食用油を使ったりサイクル粉石けん「ひなたぼっこ」は、洗濯・食器洗い・掃除と何にでも使えてとても便利。石けん純度81%以上、汚れ落ちも抜群です。五徳やグリル網などを煮洗いすると、スツキリきれいになります。また、換気扇掃除は気温が高い時期だと油汚れも緩みやすくなります。40℃ほどのお湯に石けんをしっかりと泡立て、一時間ほど漬けておくと、きれいになりますよ。



見てね♪

サステイナブル委員会

委員会ではイベントが目白押しです！6～8月は生活クラブでんきのキャンペーン期間です。6月は『おだやかな革命』上映会と学習会、7月はでんきの生産者交流会を行い、生活クラブでんきの優位性を再認識しました。8月17日には「再エネ・省エネフェア」を行います。ぜひ参加して、消費材の一つである生活クラブでんきにエネルギーチェンジをしましょう。



リユース / Reuse / 再利用

6月の理事会から

2024年度第42回通常総代会の運営内容と質問・意見等について、振り返りを行いました。

共生会・生活クラブ共催による拡大試食会を11月5日に開催することを確認しました。

原発ゼロ・市民エネルギー委員会より、核ゴミ問題について学ぶ講演会と寿都町でのフィールドワークが提案され、承認しました。

10万年プロジェクトから、夏休み保養活動の参加者として生活クラブふくしまと栃木から4家族18人、一般から1家族4人が来道すると報告がありました。

2024年度ヒロシマ・ナガサキ平和行動の研修内容とカンパ募金状況(66万4053円 5月末現在)の報告がありました。

10月20日(日)開催のわくわくまつりに道内外から生産者が参加すると報告がありました。また、支部と本部委員会の参加方法を確認しました。

生活クラブでんきキャンペーン

生活クラブでんきに切り替えましょう！

6～8月は、生活クラブでんきへの切り替えをすすめるスイッチングキャンペーン期間です。企画第1弾としておこなった『おだやかな革命』上映会の様子と、生活クラブでんきについてお伝えします。



環境と生態系を守るために

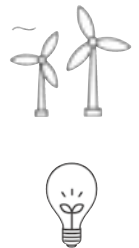
私たちが今使っている日本のエネルギーは、7割以上が火力発電です。そのCO₂排出などによる地球沸騰化で、環境も生態系もすさまじい勢いで破壊されています。再生可能エネルギーは発電設備の事故や貴重な自然を破壊する計画などが報道されているため、心配する方はたくさんいると思います。しかしその一方で、日本が輸入する天然ガスなど化石燃料の採掘による爆発事故や森林伐採、大気汚染、人権侵害等々は一切報道されていません。また、世界中の自然保護団体が、原発や火力をすべて再生エネに切り替えなければ環境や生態系への壊滅的な影響は避けられないとしているのに、日本は化石燃料を減らさず原発を推進しています。2030年までには今の火力発電の

半分以上を再生エネに代替しないと「1.5℃目標」に間に合いません。今のまま再生エネに対して慎重な態度を取り何もしなければ、守りたいと思っている自然も失ってしまいます。もちろん、再生エネであれば何でもいいというわけではありません。自然を破壊しない、地域と共生する再生エネの導入が必要で、そのしくみはもう世界中で確立されています。

生活クラブでんきは、率先してそのモデルとなる取り組みをおこなっています。生活クラブの消費材は今がベストではなく、情報を公開して使いながらより良くしていくものです。それは電気も一緒です。電気も私たちの消費材であり、問題があれば修正していく。それをできるのが生活クラブです。生活クラブは環境と生態系を守るために、再生可能エネルギーを推進します。



原発事故後に福島県の酒蔵の当主が立ち上げた会津電力。居住制限区域となった飯館村で畜産農家が立ち上げた飯館電力。岐阜県郡上市石徹白にある集落の100世帯全戸が出資した小水力発電。生活クラブ首都圏4単協が秋田県にかほ市に建設した市民風車「夢風」。自主自立をめざし、森林資源を生かしたビジネスを立ち上げる岡山県西粟倉村。成長・拡大を求め続けてきた現代社会が見失った、これからの時代の「豊かさ」を静かに問いつけるオムニバス映画を鑑賞しました。〈6/10札幌エルプラザ〉



参加者の声

2024年の今でも
通じる内容でした

住人が一丸となって取り組むところに感動！ 物質的な豊かさではなく、人が心豊かに生きていくために何かが必要なのかを教えてくれた

生活クラブでんきの価格は？

再生エネ中心で
この価格

一般家庭に多い従量電灯Bなら
北海道電力より安価！

4人家族の平均使用量 400kwh で比較

年間で **888 円**

生活クラブなら
さらに
メリットが！

利用還元
割り戻し

剰余が出たら電力利用量に応じて
料金の一部を還元します。

2023年度は還元率 0.14%

基本料金	10A あたり 402.60 円 (15A の場合、603.90 円)
電力量料金	最初の 120kwh まで 35.30 円
	120kwh を超え 280kwh まで 41.59 円
	280kwh を超える 44.86 円

北電と同じ

−0.05 円

−0.5 円

生活クラブでんき



申し込み・問い合わせ・資料請求は
Webまたは
生活クラブ北海道本部 川口まで

をめざして

2024年度第42回通常総代会は総代87人の他、4年ぶりに多数の傍聴人も出席して開催されました。2023年度事業・活動報告、2024年度活動方針・事業計画等の議案、第十三次中期5年計画について活発な質問・意見があり、すべての議案が賛成多数をもって承認されました。〈6/11 札幌パークホテル〉

2024年度活動方針 および事業計画の決定

組合員からの質問・意見
理事会からの回答

「予約」による共同購入

組 生産者の安定生産を担保しながら共同購入事業を安定してすすめるため、年間における「予約」による共同購入のしくみをつくることについて。

前向きにすすめてもらいたい
が、最優先検討消費材の牛乳・
米・豚肉・鶏卵といった生鮮食
品は年間予約にすることを躊躇
してしまふ人もいると思います。
休止や再開がしやすい形で検討
してもらえると嬉しいです。

理 通年で登録したり変更したり
できる予約システムを考えてい
ます。導入にあたっては、組合
員から意見を聞くなどしながら
検討していきます。

インターネット配送

組 配送エリア内で荷受けが困難
な人の加入手段として導入する
インターネット配送について。
支部活動費の徴収はないのこ
とですが、支部には所属しない
のでしょうか。

理 インターネット配送は、支部

組織活動推進会議

組 運営委員が少ない支部でも活
動をすすめるやすい体制をつくる
とのことですが、具体的にどの
ようなものですか。

理 これまでは、支部の運営委員
長と組織担当理事・職員・セン
ター長が出席する組織委員会
で支部の運営や拡大活動につ
いて話し合ってきました。今年度、
運営委員長がいるのは18支部中
2支部だけとなり、これまでと
同じ形式では、委員長がい
ない支部の実態を把握しづら
くなります。そのため、各支部
を担当する理事と職員が出席
する組織活動推進会議を、理
事会のもと立ち上げました。
支部の状況を共有しながら組
織活動や拡大活動を計画し、
支部の運営委員会とともに活
動をすすめていきます。

「食」を通じた福祉のとりくみ

組 多世代を対象とした地域の食
堂の開催を検討するとは、具
体的にどういうものですか？

理 地域福祉づくりの柱として、
2022年に閉所した生活クラ
ブ・デイサービスセンター・デ
イの建物（豊平区）で多世代
が交流できる居場所づくりを
すすめます。そこで、子ども食

ター（清田区）から各センターに
消費材を運んでいる業者がいま
す。そこが滞ってしまう可能性
があるので、まずはデリバリー
センターから一番遠い第1セン
ター（手稲区）に冷凍庫を作り、
ドライバーが比較的多い昼間に
配送してもらおうと考えまし
た。規模は、現在4千人の組合
員数から増えることを想定した
容量を考えています。

他に、市民風車、再生可能エ
ネルギー、役員報酬などにつ
いて質問や意見がありました。

第十三次中期5年計画 （2024～2028年）

この中期計画は、10年先の社
会を見据えた施策です。組合員
数が伸び悩み、利用も減少して
いる現状には組織を変革して対
応しつつ、「健康で安心して暮
らせる社会を実現する」という
理念を共有し、生活クラブがめ
ざす方向を明確にして、活動に
共感する仲間を増やしていきま
しょう。

そのためにはまずは北海道を
大きな地域として捉え、仲間づ
くりの柱となるローカルSD
Gs（地域循環共生圏）を推進し

組合員からの意見 理事会からの回答

学校給食

組 健康な食に興味関心を持つ人
を増やす活動として、北海道で
の有機給食について実現可能な
範囲から検討していくと書かれ
ています。今年度の活動方針に
は入っていませんが、早くやる
べきだと思います。

理 様々なところと情報共有しな
がら、できることを探してすす
めていきたいと考えています。



2024年度 第42回 通常総代会報告

健康で安心して暮らせる社会

理事長挨拶

生活クラブ北海道 理事長 片桐 葉子

安全な食や自然環境、人と人とがつながる社会を求める私たちの活動は、まじめにやればやるほど相手を大きく感じて、時に無力感を感じるかもしれません。でも、どんな権力者より大企業より一番数が多いのは私たち一般消費者です。一人ひとりの力は小さくとも、私たちが差異にこだわって分裂せず、大きな目的に向かってゆるやかにつながることができれば、政治家も企業も好き勝手はできません。生活クラブで私たち自身が活動し、それぞれが発信してつながりを大きくしていけば、大きな力にも対抗することができます。私たち自身や子ども、孫のその先の世代まで、その未来を守るために、これからの時代にこそ生活クラブが必要です。一人ひとりの力を合わせてともにすすんでいきましょう。私もできる限りがんばってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2024年度役員

今年度は役員改選期にあたり、下記の役員が選任されました。会場内で第1回理事会を開催し、互選にて理事長に片桐 葉子さん、副理事長に石黒 真理さん、竹森 明子さん、専務理事には畑 玄理さんが信任されました。

【理事長】片桐 葉子 【副理事長】石黒 真理 竹森 明子

【専務理事】畑 玄理

【理事】（新）：新任理事

泉屋 めぐみ 岩野 美穂（新） 大野 直子（新） 小林 恭江 小松 真理
佐藤 静（新） 多田 健介（新） 福井 美知代 山崎 栄子

【監事】一瀬 美絵 山谷 滋美

新旧役員



旧役員：前列左から高橋（諷）さん、伊藤さん、小池さん、前列右から渡辺さん、小田桐さん、高橋（香）さん
前理事長の山崎栄子さんは理事に、前専務理事の高階洋介さんは顧問に就任しました

には所属しません。加入する際はホームページ上の手続きのみで、直接会って支部活動費などの説明ができません。また、デリバリーセンターからの配送になるので、各センターで支部からのおたよりを入れて支部活動を伝えることができません。ただし、加入の際、支部からメールやおたよりを送っても良いとチェック欄に入力してくれた人には、メールなどでイベントに誘うなど活動を伝えることができます。

配送センターの冷凍庫

【組】「第1センターの冷凍庫設置をすすめる」とありますが、目的や規模を教えてください。

【理】設置を考える発端になったのは、トラックドライバー不足により物流が滞ることが懸念される「2024年問題」です。夜間や早朝に、デリバリーセン

ます。食・エネルギー・環境・福祉という地域の資源を循環させていくために、地域行政や地域のステークホルダー（金銭的な関係にとどまらず事業活動により影響を受けるすべての利害関係者）とも連携し、持続可能な地域社会づくりをすすめていきます。行政とのパートナーシップの活用や生産者に限定しない地域の関係者との連携により推進力を高め、これからの生活クラブの可能性を拡げていきます。

総代定数130人（実出席87人（議長2人含む）、書面議決38人、委任状3人）
第1号議案から第7号議案は賛成多数で可決されました。
●各議案は『2024年度第42回通常総代会議案書（ダイジェスト版）』をご覧ください。議案書本編を希望の方は本部までご連絡ください。
●総代会を迎えるにあたり、各支部では事前に議案書の読み合わせを行い、様々な質問・意見が出されました。その内容は理事会でも共有しています。

仲間を増やして 食べる人を増やして

生活クラブを広げよう

支部では1年間の計画を立てて、地域情報の収集やイベントへの連動など知恵を集めて生活クラブを広げています。そこにはたくさんの組合員が登場していますよ。楽しみながら生活クラブを知らせている各支部の仲間づくりの様子を運営委員から紹介してもらいます。

手稲

まるごと生活クラブ



5/25 スペースまるしょう (JR 手稲駅前)

もらうための場です。少し肌寒い日でしたがオープンと同時に来客があり、消費材を手に取り、話をすることができました。組合員が配ったチラシや駅に貼ったポスターを見て来場して

スペースまるしょうにて、「まるごと生活クラブ」を開催しました。消費材のミニ展示販売、ちくちくサークルの手作り品販売や10万年プロジェクトのバザー、エッココ親子ひろばを設け、ゆっくりと生活クラブを知って

くださった方も多く、広報の大切さを実感しました。お子さんは、親子ひろばで魚釣りゲームをしたり、エッココアサポーターと棒倒しゲームをしたりして楽しみました。午後からは、しろくまちゃんのホットケーキを作りました。絵本のとおり、ふわふわに美味しく焼き上がりました。店内はとても明るく、和やかな雰囲気でした。

年内は毎月開催予定です。お友達を誘ってぜひ来てください。(佐々木 佳永)



拡大は、新しい仲間(組合員)を増やすこと

消費材を食べ続けるためには多くの仲間が必要です

「これ、おいしいよ!」

さりげなく、生活クラブを伝えるのも拡大

組合員が参加できる拡大活動は、春のチラシまきや紹介キャンペーンがあるよ

できることから始めよう♪



釧路

地元のイベントに参加

地元の子育てマガジンがおこなっているイベント「おさがり広場」に初めて出店しました。既存のイベントへの出店を検討したいという議案書の方針に対して、支部大会で組合員から情報があり、出店につながりました。その組合員から「参加者は子ども連ればかりなので、じっくり見てもらう時間は



5/18 ウインドヒルクしろスーパーアリーナ

あまりないかも。ひと口食べるだけで良さがわかる、ケチャップの味くらべだけでいきましょう!」というアドバイスがとても心強かったです。

当日は、①市販品と生活クラブのケチャップをひと口ずつ食べくらべてもらう ②興味のある人にはケチャップかホットケーキのサンプルどちらかを渡す、というシンプルな段取りでしたが、一時はサンプル申し込みを待つ行列ができるほどの大盛況となり、62件の加入情報を得ることができました。「生活クラブって何ですか?」という人たちとのたくさんの出会いに、大興奮の一日でした。(吾妻 理恵)



この日得た加入情報先には、7月のイベントにお誘いの連絡をしています

北

＼チラシまき／
＼場所選び／
事前準備が実りました！

2024 年度の重点拡大エリアは「鉄西」としました。「鉄西」は JR 札幌駅の北側に広がる地域で、再開発が進み商業施設やマンションが次々と建設され住民が増えています。このエリアにある認定 NPO 法人シーズネットさん（生活クラブ福祉基金の運用委員会メンバー）の駐車場をお借りして行いました。

新聞折り込みとポスティングの 6,000 枚に加えて、運営委員の力を結集した 2,350 枚のチラシまきの成果が実って、開始前から訪れる人があり、最終的には組合員外 31 組、組合員 6 組の計 37 組の来場となりました。添加物や素材への関心が高く、説明に熱心に耳を傾けてくださる方ばかり。

元組合員も何人かいらっしやっただので、システムが利用しやすく変更されていることなどをお話しました。北大がすぐそばなので

English only の方が 2 人来られて、これからは英語でも説明できるようにならなくては、と思いました。消費材を手に取りお試しできるあみーかが、加入の後押しをしてくれることを願って…。(石田 典子)



6/15 駐車場(北 10 西 4)近隣の住民がたくさん来場

展示説明車

あみーか を使った拡大

あ
集まる

み
見る

か
買って
加入

積載している消費材は **70 種類以上!**
冷蔵品（牛乳・卵・豚肉など）、調味料、お菓子や石けん etc.

直接手に取って、お試し買いができる

みかん色の小さな
トラックです



支部によっては、**推し**の消費材を載せたり、試食も♪

CHECK!

運行は、支部のお便りや SNS でお知らせ

豊平

多くの組合員が力を合わせて

昨年に引き続き重点拡大エリアにした西岡・福住地区であみーか稼働の 5 日前、組合員からの情報をもとに周辺 600 世帯へチラシをまいて告知をしました。今回はくらボメンバーの協力を得て、班や戸配の組合員それぞれが連携して活動を進めました。午前の「福住中央ちびっこ公園」には組合員外 2 人、午後の「福住グリーン公園」には組合員外 5 人、組合員 1 人の参加がありました。試飲の生活クラブ牛乳と温州みかんジュースが好評で、消費材の魅力を伝えることができました。顔の見える関係性を作ろうと働きかけ、協力してくれる組合員のおかげで交流ができ、和やかな拡大となりました。(権平 まゆ)



「牛乳が美味しくて、びっくり!」
と、試飲して購入する方も



わくわくまつり実行委員が来て、
まつりのアピールをしました
(6/22 福住グリーン公園)

information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15 TEL 011(887)8891
発行日 2024年7月20日 編集 広報委員会 W・C・O P R A N S E P O

FAX 011(887)7229

生活クラブ館・北広島 10周年!

クラブ館まつり

9/8(日)
11:00 ~ 14:00

生活クラブ館・北広島が開館10周年を迎えます! 支部やワーカーズ、市民ネットが用意した「美味しい、楽しい」がたくさんあります。ぜひ遊びに来てください!

北広島市美沢1丁目1-2

親子連れでも
おひとり様でも!

おむすび

からあげ

おもちゃ釣り

美味しい

ビール

たこ焼き

たい焼き

カレー

「鍵ハモシターズ」
演奏会

楽しい

チュプでは、読者モニターを募集しています。興味のある方はお気軽に本部 川瀬までお問い合わせください。



Instagram・Facebook もご覧ください!

ホームページからも
アクセスできるよ



本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>

再エネ・省エネフェア

日時 8月17日(土) 11:00 ~ 15:00

場所 札幌エルプラザ 環境研修室 (札幌市北区北8西3)

内容 子ども向け風車づくりワークショップやベランダでできる太陽光+蓄電池の自家消費システム、省エネ講座のほか、生活クラブでんきがわかるブースも!

ニュース

7月3週

主催 サステナブル委員会

野本健司氏「食品添加物講座」

日時 8月30日(金) 14:00 ~ 16:00

場所 まちライブラリー@ちとせ (千歳市末広6丁目3)

内容 テーマは「食品添加物を考える」

日時 8月31日(土) 10:00 ~ 12:00 (予定)

場所 札幌エルプラザ 環境研修室 (札幌市北区北8西3)

内容 テーマは「輸入食品を考える」。講師は食の安全を考える会代表 野本健司氏。自分はもちろん、家族のためにも知っておきたい食品選び講座です。

ニュース

8月1週

主催 組織活動推進会議

2024年度 生産者交流会

日時 9月25日(水) 10:00 ~ 13:00

場所 札幌エルプラザ (札幌市北区北8西3)

内容 生産者と直接会って、消費材の話を聞くことができます。つくり手の顔が見えると、より生活クラブが楽しくなります! お気軽に参加ください。

ニュース

9月1週

主催 本部消費委員会



毎日健康、美味しいご飯

北斗支部 佐藤 なぎさ

食いしん坊な私にとって消費材は生活必需品。365日いたってお米が安心して食べられるのは有り難いことだ。肉は塩こしょうで焼くだけで美味しいし、醤油も味噌も酢もシンプルで、お出汁も最高。毎日、美味しいご飯とお味噌汁をいただいている。

若い頃は食べ物に感謝どころか、節約するなら食費と迷っていた。味噌汁は顆粒の即席出汁、冷凍食品で楽々の食事、外食も楽しみだった。けれど、毎月風邪をひいた。かなりひどい気管支炎になり咳で肋骨を骨折したこともあった。原因不明の頭痛で体調不良、きつと寒さのせいと決めつけていた。でも、子どもが生まれて母親教室で昆布と鰹節でとる出汁の大切さを知り、身体は食べ物でできていることを痛感。食事はガラッと変わった。生活クラブに加入してますます真剣に考えるようになった。介護の仕事をするようになり、病気は遺伝もあるが食が原因と痛感する。できるだけ確かな食べ物を自分で作って食べる。作ってくれた人に感謝して。

組合員のエッセイを募集します。4000字程度。テーマの指定はありません。本部 川瀬まで、ファックスが業務便で送ってください。



道産 道産間伐材を配合した紙を使用しています